

作業環境を進化させるアイテム！ 現場の5SにGFが大活躍

小林マシナリー株式会社さま

今回は自動車部品のプレス・溶接・加工から設計開発までを手掛ける小林マシナリーさまに訪問。
生産現場からオフィス内にいたるまで、オリジナリティーの高いGFの活用事例を紹介します。

アルミフレームの軽さを生かした 独自のアイテムを製作

小林マシナリーさまとの出会いは07年11月末、東京ビッグサイトで開催された国際ロボット展。SUSブースに来場された同社製造部の坂庭さまがGFをご覧になり、採用をご検討いただいたことがきっかけです。

「初めてGFを持った時は、これまで使用していた鉄製のパイプに比べて、アルミの軽さにとても驚きました。展示会直後に、早速サンプルをいただき12月にはシューターを購入。実際に使ってみてからも、部品点数の多さなど汎用性の高さを改めて実感しました」（製造部 坂庭さま）。

その後も、定尺フレームにてコンスタントにご注文をいただき、部品棚、作業台、看板、ブースなど同社にて設計・製作されたオリジナル製品が次々と誕生しています。

「システムが明快で抵抗なく設計できました。取り扱いも簡単なので社内でもあっという間に浸透していき、今では女性の作業者が、自分で自分の作業台をつくってしまうほどです」（製造部 班長 仲屋さま）。

キャラバンカーによるミニ展で訪問させていただいた際は、同社帆足社長はじめ現場の皆さまにも多数ご来場いただき、その人気の高さがうかがえました。



強度を保ちつつ締結部品を最小限に工夫したシューターや作業台。

組立・解体が容易でリユースが可能 GFを活用して現場を進化させる

『世界を走る小さな部品』をキャッチコピーに積極的な5S活動をされている小林マシナリーさま。敷地内をテーマパークとして世界

大陸に例えるなど、工夫を凝らした楽しい改善を行っています。

「アルミフレームは見た目がとてもキレイですね。拭けばすぐ汚れが落ちる点などメンテナンスも簡単。軽いのでキャスターを付ければ移動もスムーズですし、棚の下もいつでも清掃できます」



溶接した部品を置いて次工程に効率よく渡す部品台。3段で重ねて置ける省スペースの仕組みになっており、その機構は仲屋さんが設計・製作されました。



左から：製造部 坂庭尚之さま 製造部 係長 林 孝幸さま 製造部 班長 仲屋敏雄さま 製造部 主査 荻原義彰さま

（製造部 主査 荻原さま・係長 林さま）。

“作業環境は常に進化させる”をモットーに掲げる同社では、鉄製の従来品から軽くて組み替えが容易なGFへの置き換えが、着々と進んでいるそうです。

「はじめて購入した際にいただいた組立図面がもう少し分かりやすいと助かりました。また3～4点で連結できるアイテムやフレームの展開があるとよいですね。当社では現場の作業者が、知恵を出し合って使い勝手のよいカタチを設計・製作していますので、GFの自由度の高さは大変好評です。これからも常に新しいカタチを創造していきたいと思います」（同 仲屋さま）。

小林マシナリーさまの敷地内の随所に見ら



同社のレーザー加工機でつくった看板とGFとのコラボレーション。荻原さんがわずか2時間で7台を製作されました。

れた5Sや工夫・改善の跡。そして何よりも、その取り組みに多彩なアイデアでご活用いただいているGFの姿に、進化したアルミフレームの新しいカタチを感じた取材となりました。



製品の品質確認に用いる作業ラック。使い勝手を考えて、常に組み替え・改造を行っています。



QCコーナーの簡易ブースもGFで製作。



オフィスにある書類棚の台車にもGFの姿が。レイアウトの変更・移動もスムーズ。



小林マシナリー株式会社

〒326-0327
栃木県足利市羽刈町556
TEL.0284-72-8711（代）
FAX.0284-72-8710
URL www.yhmc.co.jp



1600ton Transfer Press トランスファープレス